

## JA埼玉中央自己改革取組宣言

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織であり、協同の精神である相互扶助に基づく「共助」の結合体ともいえる組織です。

JAは、農業者（正組合員）と地域農業を応援する者（准組合員）が組織する協同組合です。組合員の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開し、農業者の所得向上や地域農業の振興を目的として、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を通じて総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

地域農業の振興には、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設への投資が可能になります。

正組合員のみならず准組合員の事業利用が、地域農業の振興の一助となり不可欠です。

JAは、これからも総合事業を通じて組合員・地域の皆様とともに地域の農業や暮らしを守り、協同組合の精神を次代につなげていくため、自己改革を実践してまいります。

これまでも、これからも、**組合員・地域の皆様とともに**  
JA埼玉中央は総合事業を展開し、次の3つの目指す姿に向かって  
自己改革の実践に取り組めます。

- ①農業者の所得増大、農業生産の拡大を通じ、持続可能な農業を実現してまいります。
- ②協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまと豊かで暮らしやすい地域社会を実現してまいります。
- ③「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

以上、宣言します。

令和元年6月22日  
埼玉中央農業協同組合

○主な取り組みについて、次の3点を紹介します。

### 1.担い手経営体への総合事業提案

TAC（営農専任渉外担当者）による個別訪問活動を継続的に実施し、肥料・農薬及び生産から販売までの総合的な提案、さらに労働力軽減等の省力化技術の提案を継続的に実施してまいります。また、担い手サポートセンターを中心に部署連携による定期訪問を実施してまいります。

<取組内容>

提案事項

水 稲（密播種・疎植栽培技術の普及拡大）

野 菜（土壌改良剤の普及拡大）

生産資材（集約銘柄肥料の普及・基肥一発肥料の普及・大型規格農薬の普及）

農業経営（青色申告記帳代行の普及・事業承継相談・融資相談・リスク管理）

### 2.マーケットインに基づく生産・販売事業の確立

加工業務用野菜の生産拡大を図り、さらに実需者との有利販売に努めてまいります。また、業務用米では、実需者ニーズに沿った品種への作付誘導・生産拡大を図り、販売拡大に取り組んでまいります。

<取組内容>

契約栽培米の拡大：（集荷目標 80,000 袋）

買取販売の拡大：（集荷目標 20,000 袋）

加工業務用野菜の面積拡大：（作付累計面積 1,106a）

### 3.地域の活性化の取り組み

准組合員に対し、JA農産物直売所や各種イベントを通じて地域の農業振興を応援してくれる「食べて応援」「作って応援」の働きかけに取り組んでまいります。

<取組内容>

正・准組合員のメンバーシップの強化

女性組合員の加入促進運動（目標：加入 300 人）

准組合員の「農」に基づくメンバーシップ強化

「食べて応援」を実践する准組合員の特定

准組合員モニターの選定（目標：各支店より 3 名～5 名）

\*その他の具体的な取り組みは、総代会資料の自己改革工程表をご覧ください。